

地域福祉の実践から学ぶ～住民力と専門力の連携・協働～

福祉のまちづくりサポーター フォローアップ講座 開催

平成 27 年 2 月 21 日(土)、「福祉のまちづくりサポーターフォローアップ講座」が開催されました。今年度は「子育て」に焦点を当て、その中で地域と専門職との連携について考えました。

はじめに、郡山女子大学専任講師 渡邊英勝氏より「まちづくりサポーターの役割とは」についてお話しいただき、富士児童相談所 相談課長 鈴木啓一氏より「児童虐待の現状から～今地域で起きていることから、地域と専門職による連携の必要を考える～」と題

し、現場での実情を講話いただきました。

その後、まちづくりサポーターとして実際に「子育てサロン根ねっ子」を運営している鈴木祥子さんよりサロンの役割、思いについてお話しいただきました。

参加者からは、「児童相談所の実情や子育てサロンの実情を知ることができてよかった。まちづくりサポーターとして、これからも地域福祉活動に役立てたい。」などの声が聞かれました。



※ 福祉のまちづくりサポーターとは

市内の各地区社協、地域寄り合い処、子育てサロンなどの地域福祉活動に主体的に取り組む地域福祉のボランティアです。

地区社協(地域)、民生・児童委員、ボランティア、福祉の専門職、行政などと協力し、人にやさしいまちづくりの担い手として活躍いただきたいとの思いから、平成 19 年度より本講座を開催。昨年度まで延べ 262 名の方が認定を受け、各地区で活躍されています。

地域福祉実践セミナー開催

平成 27 年 2 月 7 日(土)地域のみなで福祉活動の輪を広げようと、「地域福祉実践セミナー」が開催されました。

当日は 95 名の方が参加し、静岡福祉大学教授西尾敦史氏、郡山女子大学専任講師渡邊英勝氏、富丘地区社協 あったか家族のつどい部の高木陽子さん、山口功枝さんによる講話、活動報告、シンポジウムが行われ、実践者の方たちの思いに、参加者の方々も共感し、多くの質問や共感する意見をいただくことができました。



▲地域の活動発表



▲西尾教授から人のつながりについて学ぶ



▲熱心に耳をかたむける受講者